

令和6年度 第3回 犬居小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月3日（月） 14時20分から16時00分まで
- 2 開催場所 浜松市立犬居小学校 多目的ルーム
- 3 出席委員 渡辺 新五、山下 光之、酒井 まち子、山下 尚美、中 隆弘
- 4 欠席委員 栗田 幸尚
- 5 学校支援CD 前田 浩子
- 6 学 校 堀田 洋一（校長）、中村 隆紀（教頭）、石川 雄飛（教務主任）、
原田 佑香（養護教諭）、山崎 淳子（CS ディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 教頭 中村 隆紀
- 9 議長の選出

司会の教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、酒井委員から渡辺会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）令和6年度学校評価、子供たちの様子について
- （2）学校運営協議会の自己評価について
- （3）令和7年度学校運営の基本方針について
- （4）いじめ防止等のための基本的な方針について

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数6人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- （1）令和6年度学校評価、子供たちの様子について

教務主任から資料を用いて説明があった。委員からは、以下の発言があった。

○「週に1冊本を読んでいる」の項目が親子とも低いことについては、「本を読む意味」を伝えていくことが必要だと思う。「本を読まない」＝「マイナス」とは限らない。代わりに運動をしているという子もいると思う。（山下光委員）

○授業を見たが、どの子も集中して取り組んでいた。4月と比べると成長が見られる。「早寝、早起き、朝ご飯を行っている」の項目については、タブレットや携帯の使用が関わっている可能性がある。家庭で見守っていききたい。（中委員）

○授業参観では、子供の成長が感じられた。今年度もたくさんの授業を参観してきたが、いろいろな体験をさせてもらっていると思う。（酒井委員）

○「タブレット等のICTを使って学習している」の項目では、全国的に見て数値が低いかもしれないが、それが必ずしも悪いことではないと思う。「目標やめあてに向かって学習している」の項目では、児童が6月も11月も100%だが、保護者はどちらも80%近くと乖離が大きい。これは、昨年度も同じような結果だったと思う。子供たちの学校での様子が保護者に見えていないのではないだろうか。（山下尚委員）

○先生方と子供の距離が近い。何でも言えるよい関係に見える。子供たちが相手に気持ちを

伝えるのが苦手ということだが、人の顔色を伺うのは自然なことでもある。そうしたときに先生方がうまく子供の心を引き出している。三者面談で保護者や子供が本音を言えることが大事。体育の授業を見たが、子供たちが楽しく授業に取り組んでいた。全校一斉の体育も良いのではないか。(渡辺会長)

→ 授業をしている先生方と子供の距離が近く、何でも言えるよい関係に見えるとの話があった。養護教諭も小規模校のよさを生かし、授業や生活の中で学級の中に入り込んでいる。養護教諭が子供に寄り添い、困り感を吸い上げてくれている。職員一人一人が担任のような存在で子供たちと接している。(教頭)

→ これからも子供たちに「話してみよう」と思ってもらえるように関わっていききたい。
(養護教諭)

○来年度、運動会を10月の終わりに、修学旅行を10月の始めに変更しようと考えている。
地域・保護者としてはどうか。(教務主任) → 大丈夫だと思う。(全委員)

(2) 学校運営協議会の自己評価について

事前にまとめた資料を用い、主に評価項目4「来年度の目標」についてグループで話し合い、全体で熟議を行った。委員からの発言をまとめると以下のようであった。

○「学校や地域の良さを深く知り、故郷を愛する心を育む活動(家康プロジェクト)」について保護者や地域がより支援していく」という目標はよいが、「支援」についての「連携」や「方策」について、より深めていきたい。

○「学校運営の基本方針について更に理解を深め、子供たちのよりよい教育や学校生活のために学校・保護者・地域との連携を深める。」という目標はとてもよい。来年度は特に「学校運営の基本方針について更に理解を深めること」や「学校・保護者・地域との連携を深めること」について熟議をしていきたい。

(3) 令和7年度学校運営の基本方針について

校長が学校運営の基本方針について、グランドデザイン(案)・パワーポイントを使って説明をした。

○今年度協議会の中で、「犬居小の強みと弱み」を熟議した。先日の教育課程編成会議でも同様の話し合いを行い、みなさんの思いも共有した。第4次浜松市教育総合計画が来年度からスタートする。来年度は7月に協議会を1回増やし、新たな「浜松市の目指すこども像」と「犬居小の目指すこども像」について熟議していきたい。(校長)

○学校評価で出された課題「主体性」について、改善策の一つとして複式学級の授業の在り方を検討したいと考えている。教科担任制が進むとともに、天竜区でも複式授業を行う学校が減ってきている。(校長)

→ かつては犬居小でも複式授業の姿が見られた。授業参観の様子を見て、「先生たちは大変だなあ」と感じていた。(山下尚委員)

→ 複式授業を行った経験がある。複式授業によって「主体性」は高まると思うが、「主体性の基礎」があって成り立つ。基礎を築くのはとても大変。(CSディレクター)

→ 教育課程編成会議で引き続き検討し、基本方針にも反映していく。(校長)

※学校運営の基本方針の承認は、来年度の第1回学校運営協議会で行う。

(4) いじめ防止等のための基本的な方針について

教頭がいじめ防止等のための基本的な方針について、今年度の取組と来年度に向けての方向性について説明をした。

- 「相手に気持ちをしっかりと伝える」というのは課題。「いやなこと」をしっかりと意思表示できず、いやな気持ちが積み重なって大きくなっていくケースが見られる。(校長)
- 困ったことやいやなことを友達同士で面と向かって言えなくても、親等、大人に言えるというのも大事なのではないか。(山下光委員)
- いじめについては、未然に防ぐことが大事。人数が少ない学校なので、後のことを考えると相手に直接言いにくいのだと思う。(中委員)
- 「相手に伝えることが苦手」というのは、少人数の中での経験が関係しているのではないか。仕方ない面もあるかもしれない。(酒井委員)
- 少人数の中で生活しているので、身内のような存在になっている。そうした関係で、言い過ぎてしまうこともある。何かうまく解決する方法があるとよいのだが…。一人で抱え込まずに、大人に言える事は良いことだと思う。(山下尚委員)
- 熟議を聞いていて、「小規模だからこその悩み」があることを実感した。職員もジレンマの中で指導しているが、上手な伝え方、スキルを学校でも教えていきたい。職員も研修をしていきたい。(校長)

12 その他連絡事項

(1) 夢育やらまいかCS加算分について

教頭より、第1回で提出された意見書の通り使用した旨の報告があった。

(2) 次回の予定について

次回会議は、令和7年4月25日(金)午後開催する旨の報告があった。

(3) 学校行事の予定について

授業参観会、6年生を送る会、卒業式、R7年度入学式、始業式について日程等が伝えられた。